

第98回

全国高校野球選手権大会

▶第7日



ノックを受ける光星ナイン=13日、兵庫県西宮市の津門野球場

光星 いざ東邦戦

守備の連係を確認

第98回全国高校野球選手権大会の2回戦(14日第3試合)で東邦(愛知)と対戦する八学光星は13日、兵庫県西宮市の津門野球場で練習に臨んだ。ナインはこれまでと同様、守備や打撃

の練習を約7時間こなし、東邦戦に備えた。仲井監督は練習後、勝負事は勢いが大切。最初から勢いがつくように、絶対に

相手の右腕、左腕の両方を想定した近距離打撃を実施。投手はほとんど投げずに調整した。

仲井監督は練習後、勝負事は勢いが大切。最初から勢いがつくように、絶対に

緊張はありませんでした。むしろ、観客の多さに興奮しました。今夏はまだ打席に立っていないので、バッターボックスに入ってみたいですね。

センバツでは安打を打てなかったため、打席に入ったら気持ちで負けずにスイングをしたいと思います。中学時代に同じチームで野球をしていた友人が尽誠学園(香川)にいたのですが、惜しくも負けました。「後は頼む」と託されたので、しっかりと戦いたいです。

甲子園だよ!

いよいよ2回戦ですが打撃の調子はまずまずです。1回戦は代走で出場しましたが、センバツを経験したためか、



⑦小日出大里(3年)=大阪・新生野中出

早く打席に立ちたい

緊張はありませんでした。むしろ、観客の多さに興奮しました。今夏はまだ打席に立っていないので、バッターボックスに入ってみたいですね。センバツでは安打を打てなかったため、打席に入ったら気持ちで負けずにスイングをしたいと思います。中学時代に同じチームで野球をしていた友人が尽誠学園(香川)にいたのですが、惜しくも負けました。「後は頼む」と託されたので、しっかりと戦いたいです。

機動力生かしたい光星

さよつこの見どころ

【2回戦】

▽第3試合(13時)

東邦(愛知)―八学光星

地元・兵庫県代表に延長の末、僅差で競り勝った八学光星と、初戦で24安打19得点と打線が爆発し、乱打戦を制した東邦の対決。光星は初戦5得点にとどま

たが、15安打を放っており、打線の迫力では負けていない。光星打線が相手投手陣を攻略できるかが焦点となる。

東邦の投打の柱は主戦の右腕藤嶋健人。大きく縦に割れるカーブや最速145キロ超の直球を駆使する本格

派だ。登板のなかった初戦は4番右翼手で出場、6打数4安打4打点と存在感を示した。初戦の先発は左腕松山仁彦。鋭いスライターと最速140キロ超の直球を武器とする。

久々の登板となる藤嶋か、初戦で投げた松山か、先発投手は読みづらいが、相手は愛知大会6試合でわずか4失点と安定感がある。投手陣は分がある。光星は初戦、機動力を十分に生かし切れなかったが、伊藤優平や田城飛翔らが出塁したら積極的に揺さぶりをかけたい。

勝つ気持ちで、強気で戦ってほしい」とナインを鼓舞。(林泰輔)

奥村幸太主将は「相手は打っても投げては藤嶋(健人)のチーム。打撃は相手に負けない気持ちで、投手陣は他の打者にまで打たれないよう気を付けるだけだ」と警戒を強めた。(林泰輔)